

月見草

月見草が咲いている

線路にそつと咲いている

どこまでも咲いている

幼いころ

ひとり月見草を摘んで遊んだ

五つするとき母が亡くなった

夕方病院に行つて

次の日の朝には帰つてきた

ただいまとは言わなかった

小学生になつて

だれかが言つた

夜、月見草を摘んだら

お母さんが死ぬんよ

まばたきが止まらなかつた

歯がガタガタ鳴つた

おかあちゃん

おかあちゃん

おかあちゃん

私のせいなんだ……

いい年をして

今でもふと

そう思うときがある